

【プレスリリース】

報道関係各位

2020年10月30日

増加する内分泌腫瘍の治療ニーズをシームレスにカバー

『内分泌腫瘍治療センター』を11月1日(日)に新規設立

～個々人に最適な医療を提供、神奈川県東部地域の内分泌腫瘍診療の充実に貢献～

拝啓 ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院(神奈川県横浜市鶴見区、以下、当院)は、11月1日(日)に『内分泌腫瘍治療センター(以下、当センター)』を新たに立ち上げますのでお知らせいたします。

当センターは近年増加する患者さんの医療ニーズを充足するべく、当院所属の内分泌学会専門医、甲状腺学会専門医、脳神経外科学会専門医、頭頸部外科学会専門医、泌尿器科学会専門医、肝胆膵外科学会専門医を含む医師が一体となり、間脳下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患などの内分泌臓器を対象に診断から治療まで最善の医療を提供することをコンセプトとした部門横断型の治療チームです。

全国における内分泌腫瘍疾患患者数(甲状腺悪性腫瘍、甲状腺の良性結節、副腎腫瘍、下垂体腫瘍の合計)は、2018年度に22,000人を超え、2016年度と比較して1割増加しています^{※1}。また当院における患者数も、同期間で比較し2割増加と、全国の増加率を上回って需要が高まっております^{※2}。

その一方、腫瘍を発見しても、脳外科、耳鼻咽喉科、消化器外科(内科)、泌尿器科、産婦人科など当該する診療科は異なり、紹介先の施設により担当する科が異なるなど、シームレスに手術および術後管理を行える施設が少ないことが課題として挙がっていました。

こうした背景を踏まえ、内分泌学会専門医による診断から専門的治療、また手術適応患者さんに対する外科系診療科とのシームレスな連携を推し進めることで、個々人に最適な医療を提供する体制を整えるべく、『内分泌腫瘍治療センター』を立ち上げる運びとなりました。当センターが神奈川県東部地域の内分泌腫瘍診療の充実に貢献すべく尽力してまいります。

当院は「Design Next Medical Road」というメッセージを掲げ、「地域の未来の医療」をつくりあげていくため、様々な取り組みを推進してまいります。

敬具

※1 2016年度～2018年度 DPC 公開データより

※2 当院調べ

＜本件についてのお問い合わせ先＞

済生会横浜市東部病院 広報推進室 担当:今野・荒木
電話:045-576-3000 Email:koho@tobu.saiseikai.or.jp

■ 内分泌腫瘍治療センター概要

- 受付時間： 平日月曜日～金曜日 9時～16時(医療機関からの紹介状お持ちの方は予約可)
実施内容： 内分泌学会専門医による診断から専門的治療、また、手術適応患者に対する外科系診療科とのシームレスな連携
URL: <https://www.tobu.saiseikai.or.jp/endocrinoma-center/>

■ 対象疾患

間脳下垂体疾患・・・下垂体腫瘍(クッシング症候群、先端巨大症等)、頭蓋咽頭腫 等
甲状腺疾患・・・甲状腺腫瘍(甲状腺腫瘍様結節、甲状腺がん) 等
副甲状腺疾患・・・副甲状腺がん(過形成・腺腫・がん) 等
副腎疾患・・・アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫、副腎腫瘍 等
膵内分泌腫瘍・・・インスリン産生腫瘍、ガストリン産生腫瘍 等

■ センター長メッセージ

内分泌腫瘍治療センター長
糖尿病内分泌センター長
一城貴政(いちじょうたかまさ)

日本内科学会認定医・総合内科専門医・指導医/日本内分泌学会内分泌代謝科専門医・指導医・評議員/日本糖尿病学会専門医・指導医
日本高血圧学会正会員・指導医/日本甲状腺学会専門医
日本ステロイドホルモン学会評議員



「内分泌腫瘍は間脳・下垂体、甲状腺・副甲状腺、膵・消化管(神経内分泌腫瘍)、副腎、性腺と多岐に亘る臓器の腫瘍が含まれ、近年画像診断技術の進歩と画像検査施行頻度の増加により、その発見・診断数が激増しています。これらの腫瘍を発見したとしても、脳外科、耳鼻咽喉科、消化器外科(内科)、泌尿器科、産婦人科など当該する診療科は異なり、紹介先の施設により担当する科が異なることが課題とされていました。

さらに、内分泌専門医、甲状腺専門医が所属し、内分泌学的管理の下、必要時にシームレスに手術および術後管理を行える施設が少ないのが現状です。

こうした背景の中、性腺を除く上記腫瘍の内分泌学的評価および手術適応を一元的に担当することにより、よりの確で迅速な診断・治療を提供することを目的に、この度『内分泌腫瘍治療センター』を設立させていただきました。

当センターが神奈川県東部地域の内分泌腫瘍診療の充実に貢献すべく尽力したいと考えておりますので、宜しくお願いいたします。」

＜本件についてのお問い合わせ先＞

済生会横浜市東部病院 広報推進室 担当:今野・荒木
電話:045-576-3000 Email:koho@tobu.saiseikai.or.jp